

企業価値検索サービス

ユレット  
アクセス上昇ランキング

(4月5～11日)

日経平均が一時9000円突破といふところの上げ相場で、突如、注目を集めているのが、5位にランクされた「三菱商事」だ。10日、上海株が08年8月半ば以来約8カ月ぶりの高値を付けた。中国経済の減速に歯止めがかかる

ユレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりのデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなどが、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

## 三菱商事

## 過熱気味! 1カ月で株価1.5倍

と期待が高まっている。中国の巨大市場が動き出せば、資源や原油の大量消費が再び始まると、10日は海外の原油先物相場も急伸。こうなる

	銘柄	取引所	株価(円)
1	コスモスイニシア	ジャスダック	33
2	アーネストワン	東証1部	167
3	キーエンス	東証1部	18010
4	東芝	東証1部	329
5	三菱商事	東証1部	1545

※10日終値。 <http://www.ullet.com/>

情報力のある三菱商事の出番、というわけだ。インドネシアのLNG事業の経営と、資源関連に強く、それが1カ月で1.5倍まで上昇した。10日は取引時間中に高値まで付けた。短期売買でのおまみもあり、個人投資家も殺到しているようすだ。若干、過熱気味。

ランキング1、2位は、先週に続き、不動産業の「コスモスイニシア」と「アーネストワン」。3週連続のワンツィ

年初来安値は3月4日の1080円。それが10日、5倍まで上昇した。10日は取引時間中に高値まで付けた。短期売買でのおまみもあり、個人投資家も殺到しているようすだ。若干、過熱気味。